

# P R E S S R E L E A S E



山形県商工労働観光部観光振興課  
〒990-8570 山形市松波 2-8-1  
<http://www.yamagatakanko.com>

平成18年6月8日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県商工労働観光部観光振興課

## やまがた観光まちづくり塾 塾生の募集について

このたび、山形観光アカデミーと県では、「観光まちづくり」に取り組む人材の育成を目的に「やまがた観光まちづくり塾」を開催します。

当塾は観光まちづくりに活躍する人材の育成を目的としています。各地域で活動されている方々の交流（ネットワークづくり）により、各地域で活躍する際の糧（知恵や力）となること、また、塾生の活動を通じ、県民の更なる自発的かつ主体的な活動のきっかけづくりに繋がることを期待し、当塾に参加していただける塾生の募集を行います。

主催：山形観光アカデミー

共催：山形県

募集期間：平成18年6月9日（金）～平成18年6月23日（金）

開塾式：平成18年7月11日（火） 山形グランドホテル

名誉塾長：後藤靖子 山形県副知事

塾長：川口直木 企画プロデューサー

顧問：清水慎一 株ジェイティビー 常務取締役

担当：観光企画担当 中山、西堀

TEL 023-630-2372

## やまがた観光まちづくり塾　開塾の趣旨

あのまちに行きたい、あの風景に包まれたい、あの人に会いたい…芭蕉は、人をそんな旅立ちへのうずうずした気分にさせる神様を「そぞろ神」と呼びました。みちのくは芭蕉にとってそぞろ神だらけ。思い立つなり江戸深川の家を売り払い、ワクワクしながら白河の関を超えて、松島を訪ね平泉に詣り、そして山形の地へ。尾花沢、山寺、大石田、出羽三山、鶴岡から日本海酒田へ。それはまことにスリーリングで愉快で感動的で、けして芭蕉を飽きさせず期待を裏切らなかった。その証拠に奥の細道の中でも屈指の名句と名文を幾つも残しています。

いま山形らしさと呼ばれているものには、人と自然との古くからのつきあいから生まれたものが多い。

「最上川はみちのくより出て、山形を水上とす…板敷山の北を流て、酒田の海に入る」と奥の細道に描かれた最上川は、まさに山形のシンボルの一つ。この川は山の方から流れ出するから「山方」、転じて山形となったとか。

芋煮は山形を代表する名物。芋煮会は戦前、旧制山形高校の学生や山形連隊の将兵が河原で食べた野外食に始まるなど諸説ありますが、山形と里芋のつきあいはもっと古く、山形に米作が伝わる以前、縄文の昔から山形地域の人々は主食にしていたとか。

今や全国区となった冷やしラーメンにしてもけして昨日今日生まれたキワモノではなく、既に昭和26年来のもの。山形盆地の暑い夏が生んだ立派な食文化です。

このように山形は、人と自然との仲のよい営みが生み出す個性的な魅力に彩られた素晴らしい県です。

さて、行きたいまちは住みたいまちといわれます。いま山形は、県外の人々にとってそぞろ神に取り憑かせる魅力をもっているでしょうか。県外の人々にとって本当に、訪れたい、訪れても裏切られない、住みたくなるまちでしょうか。

また、住みたいまちは行きたいまちといわれます。山形の人は皆、自分のまちや暮らしにこだわり、誇りを持っています。でも県内の人々にとって山形は本当に、住みたい、住んでいても裏切られない、人々から憧れられていると自信を持てるまちでしょうか。

「住んでよし」と「訪れてよし」が一致するまちこそ、愛されるまち、愛せるまちです。そんなまちはめったにありません。でもそれが理想です。

このまちに生まれてよかったです。このまちに来てよかったです、そういうまちづくりが、本塾の目指す「観光まちづくり」です。本塾は、これに山形をあげて取り組むキッカケづくりがねらいです。

庄内の冬の真鱈のおいしさを置賜の人はあまり知らない。逆に置賜の春の瑞々しい山菜は庄内ではありません。同じ県内でも知らないことは大変多いものです。

まちづくりの知恵も同じです。それらを互いに交流し合い、切磋琢磨すればひとつひとつまちが光り、山形は輝く宝石箱となります。

寒河江川や鮭川などたくさんの流れが集まって最上川となります。県内各地域のまちづくりの流れが交われば美しい山形の大河となり、力強い発信力となって人が集まり、県民の誇りとなって暮らす喜びとなります。

みんなで山形をあらためて見直し、磨きましょう。一人ひとりの、一つひとつ地域の、山形県の明日をもっと輝かせるために。

やまがた観光まちづくり塾　塾長　川口直木

## やまがた観光まちづくり塾 塾生の募集について

憧れられるまち、住んでみたいまちは、観光で訪れるお客様も住んでいる人も、みんな晴々とした笑顔になります。そんなまちづくり、そんな山形づくりと一緒に考えませんか？

観光づくりは、どうしたら人に来てもらえるかを考え実践することから始ります。まちづくりは、どうしたら愛されるまち、愛せるまちになれるかを考えることから始ります。観光を考えることと、まちづくりを考えることとは同じことです。

「やまがた観光まちづくり塾」は、県内各地域で観光やまちづくりに興味を持っていたり活躍している人たちの交流と専門家のアドバイスなどで、明日の山形を輝かせる知恵と元気を育む塾です。ふるってご参加ください。

### 1 応募対象

- (1)当塾の趣旨にご賛同していただける方なら、どなたでもかまいません。地域づくり、まちづくりに取組んでいる方の個人参加、団体やグループでのご参加など自由です。
- (2)当塾は観光関係者のみを対象としたものではありません。業種に関係なく、広く参加を求めるもので、ご職業は問いません。
- (3)年齢は平成18年4月1日現在で20歳以上の方。

### 2 応募方法など

- (1)基本的に3～5名のグループで応募願います。個人の応募も可能です。
  - (2)応募は「やまがた観光まちづくり塾 参加申込書」に必要事項を記載のうえ、下記の申込先に郵送、FAX又はメールでお申し込み願いします。
  - (3)応募多数の場合はお断りさせていただく場合もございます。
- ※応募された方は各地区で世話人会（名称は自由。役割は塾開催の企画・運営、連絡調整など）を運営していただきます。

### 3 応募締切

平成18年6月23日（金）（当日消印有効）

### 4 申込み・問い合わせ先

山形県商工労働観光部観光振興課 観光企画担当

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号

TEL 023-630-2372 FAX 023-630-2097

E-Mail [kanko@pref.yamagata.jp](mailto:kanko@pref.yamagata.jp)

応募申込書はWORD文書をEメールに添付してお送りいただくか、手書きでご記入いただいたものを郵送もしくはFAXにてお送りください。

### 5 費用の負担

当塾に参加するために必要な交通費・宿泊費などは参加される方の負担となります。

### 6 開塾式など

#### (1)開塾式

平成18年7月11日（火）午後1時30分～山形グランドホテルで開催しますので、ご出席願います。

#### (2)塾の開催

村山、最上、置賜、庄内の各地区の持ち回りで1回開催しますので、ご出席願います。

### 7 主催・共催 山形観光アカデミー、山形県

## やまがた観光まちづくり塾 参加申込書

1. 団体・グループ名			
2. 主に活動している市町村名			
3. 代表者氏名・連絡先など	住 所		
	氏 名		
	職 業		
	生 年 月 日	昭和 年 月 日	
	電 話 番 号		
	携帯番号（任意）		
	E-Mail アドレス	PC :	
	携帯 :		
4. 構成員の氏名・職業・年齢（代表者名も記載願います）			

氏 名	ご職業・勤務先	年齢	開塾式参加の可否	
			開塾式	交流会
1				
2				
3				
4				
5				

※年齢は平成 18 年 4 月 1 日現在でお願いします。

### 5. 地域づくり・まちづくりへの取組状況

(活動状況の概要を記載願います)

※スペースが足りないときは、適宜用紙にご記入してください。

※活動報告書など、資料があるときは、3部添付願います。

開塾式、地区の世話人会、塾の開催などの資料として、個人データを使用する場合があることを同意の上、申し込みます。

(申込先)

山形県商工労働観光部観光振興課 FAX 023-630-2097 E-mail [kanko@pref.yamagata.jp](mailto:kanko@pref.yamagata.jp)

## やまがた観光まちづくり塾の概要

### 1 塾長等

(1)名譽塾長 後藤靖子 山形県副知事

(2)塾長 川口直木 企画プロデューサー

千葉商科大学政策情報学部 非常勤講師（プロデュース演出論）

三菱総合研究所 客員研究員（集客事業、地域政策等）

京都デザイン研究所 代表取締役

NPO法人黒部まちづくり協議会・黒部市観光協会 顧問 など

(3)顧問 清水慎一 株式会社ジェイティビー常務取締役

2 開催回数：6回（開塾式+県内4地区で各1回の塾開催+修了式）

### 3 当塾のスケジュール

(1)開塾式：7月11日（火）午後1時30分～3時

山形グランドホテル（山形市本町一丁目7-42 Tel023-641-2611）

開塾式後の日程（全て同ホテル内で開催）

世話人会の設立：3時15分～4時（グループの代表による役割分担などの決定）

進め方等説明会：4時15分～4時30分（塾長より）

交流会：5時30分～ 交流会参加費は5千円（当日会場にてお支払いください）

(3)塾の開催時期及び会場：平成18年7月中旬～平成19年2月中旬

村山、最上、置賜、庄内の4地区で各1回 持ち回りで開催

(4)修了式：2月下旬～3月上旬 山形市内で開催を予定

①修了式と併せて、観光まちづくりのアイデアの発表会又はプレゼンテーション会を行います。

②発表又はプレゼンテーションのテーマ及び方式は追って発表します。

③修了式には、地区の世話人会や塾生など多くの方の参加をお願いします。

### 4 塾生の役割

塾生は、地区の世話人会（名称は自由。役割は塾開催の企画・運営、連絡調整など）を組織し、地区で塾を開催するために必要となる役割（代表、副代表、会計責任者など）を決めていただきます。

①地区に所属するグループの代表者・塾生などとの連絡調整

②塾の開催に先立ち地区毎のテーマや取組み方向などについて資料の作成

③塾の開催地の選定、開催案内、準備、開催などの企画・運営 など

### 5 やまがた観光まちづくり塾の進め方

#### (1)塾の実施方法

4地区毎に世話人会が中心となり、塾の企画・運営を実施します。

#### (2)開催地

世話人会が中心となって各地区から一箇所選定し、意見交換会場や宿泊施設などを手配します。

### (3) 参加方法

- ①開催地区の世話人会が各地区的代表に案内 地区の代表は連絡網を通じ塾生に案内します。塾生に限らず、広く参加を求めるのは大歓迎
- ②会費制とし、宿泊コースも準備。  
※塾長の交通費・宿泊費は山形観光アカデミーが負担します。

### (4) 塾の構成

- ①まちあるき  
地区毎に企画してまちの一番魅力的なコースを設定。地区の塾生が参加者を案内します。
- ②講師によるレクチャー  
塾長指名のアドバイザーによる、観光まちづくりに関わるテーマでのレクチャー。
- ③交流ディスカッション  
まちあるきの印象や提案、アドバイザーのレクチャーを手がかりにしたフリーディスカッション。酒食をまじえた気さくで活発な意見交換会。進行は塾長。  
※アドバイザーの交通費・宿泊費は山形観光アカデミーが負担します。

## 6 やまと観光まちづくり塾のテーマ（例）

塾開催時のテーマ（例）は次のようなものです。

- (1) 「美しいまちづくり」=美しさは全ての基本です。発見し創造します。  
Ex. 花で彩るまちづくり。景観・修景を活かしたまちづくり。環境美化に取組むまちづくり。
- (2) 「安らぐまちづくり」=安全・安心の安らぎのある所に人は集まってきます。  
Ex. 地域として子供・老人を守る活動を通じたまちづくり。
- (3) 「楽しいまちづくり」=まちづくりは誰でも参加できる楽しいもの。  
Ex. 地域の活動がまちづくりの基本、参加することが楽しくなる工夫を凝らしたまちづくり。
- (4) 「企てるまちづくり」=何も無いところから魅力と活動をつくりだす。  
Ex. いつも見ているものが宝かもしれない。宝を磨くための取組みを通じたまちづくり。

## 7 おわりに

当塾は、観光まちづくりに活躍される人材育成を目的とするものです。

塾生間の交流（ネットワーク）により、各地域で活動される際の糧（知恵や力）となることや、塾生の活動を知っていただくことで、自発かつ主体的な活動のきっかけづくりになることを期待します。

塾生は他地区で開催する塾にも積極的にご出席してください。各地区で開催される塾に参加して、違う地域を知り・考えることで、新しい発想が、また、違う地域の人と交流することで、新しい知恵や力が沸いてきます。